

第14回 日本医療ソーシャルワーク学会 佐賀大会

— 開催のご案内 —

大会テーマ

「医療ソーシャルワーカーの未来～さがす・つながる・かえていく～」

開催日：令和5年9月30日(土) 13:30～17:45 懇親会 18:30～20:30

10月1日(日) 9:15～13:30

会場：西九州大学佐賀キャンパス（佐賀市神園3丁目18-15）

主催：日本医療ソーシャルワーク学会 <http://www.jsmsw.jp/>

後援：佐賀県医療ソーシャルワーカー協会 他

開催方法：ハイブリット形式（ポスター発表：デジタル形式）

＜演題登録・参加申込みについて問い合わせ先＞学会事務局

〒819-0002 福岡市西区姪の浜2-2-50

福岡ハートネット病院 医療社会福祉部内

TEL 代表 092-881-0735

FAX 代表 092-882-1605



日本医療ソーシャルワーク学会

1. 大会スケジュール

(1日目) 9月30日(土曜日) 会場：西九州大学佐賀キャンパス(ハイブリット開催)

12:00~13:00 プレセッション

テーマ：「(仮) 実践研究の進め方」

講師：西九州大学大学院生活支援科学研究科 研究科長 宮原洋八氏

13:00 受付開始

13:15~13:30 開会式

13:30~14:30 基調講演：「地域医療連携のこれまでとこれから」

講師：宮崎日南病院患者支援センター センター長 木佐貫 篤氏

要旨：21世紀にはいり医療機能の分担と連携が求められるようになり、全ての医療介護機関にとって地域医療連携が重要な取り組みとなっている。本講演では地域医療連携のこれまでの経緯と今後について紹介し、医療ソーシャルワーカーに期待される役割を考えたい。

14:30~14:45 休憩

14:45~15:45 特別講演：「医療ケア児の支援者の未来(仮)」(WEB方式)

講師：国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー 内多 勝康氏

15:45~16:00 休憩

16:00~16:15 ミニコンサート バイオリニスト 高木範貢氏

16:15~17:45

シンポジウム 「医療ソーシャルワーカーの未来～さがす・つながる・かえていく～」

コーディネーター：西九州大学健康福祉学部長 黒田研二氏

コメンテーター：国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー内多勝康氏

シンポジスト：

「のらねこハウスよろず相談室 代表 藤平輝明氏」

テーマ：地域に開かれたよろず相談室づくりの報告～MSW退職後の未来を紡ぐ～

要旨：2年前に大学病院MSWを定年退職して考えたことを振り返りながら、地域に開かれた空間として、「のらねこハウスよろず相談室」を立ち上げました。地域の賛同者を募り、人と人のネットワークを広げ、さまざまな相談の方に向き合いながら運営しています。シンポジウムでは地域の相談事例を紹介しながら、私たちの未来を紡いでいきたいと思ひます。

「飯塚病院 地域医療センター副センター長 浦川雅広氏」

テーマ：医療ソーシャルワーカーの働き方をデザインする

～さがす、つながる、かえていくための部署作り～

要旨：私が入職した当時は1人職場でした。個人の能力開発と個人同士の繋がり作りが中心の活動でした。しかし、近年では複数人数かつ多職種による部署に所属することが主流となっています。そこで、皆さんと組織運営を通じて「さがす」「つながる」「かえていく」という要素でMSWの未来について意見交換したいと思います。

「町立太良病院 地域医療連携室 伊藤春香氏」

テーマ：地域包括ケアシステムにおけるMSWの役割

要旨：MSWが地域に出て他の専門職や住民と一緒に包括ケアシステムを構築する活動は、地域の様々な社会資源を知り、連携し、新たな資源を創出することにつながる。大半の時間を費やす退院支援においても、患者を取り巻く環境との接点に介入する上で大変重要である。

18：00～ 懇親会受付開始

18：30～20：30 懇親会（場所 ガーデンテラス佐賀&マリトピア）

（2日目）10月1日（日曜日）会場：西九州大学佐賀キャンパス（ハイブリット）

9：00 受付開始

9：15～10：30 実践報告

一般演題 セッション1

一般演題 セッション2 座長 佐久大学人間福祉学部人間福祉学科 教授 下村幸仁氏

一般演題 セッション3

10：30～10：45 休憩

10：45～12：30 ワークショップ

ワークショップ（会場型）①

テーマ：「みなをつなげるコミュニケーション」

講師：「多摩大学大学院 特任教授・名誉教授 徳岡 晃一郎氏」

ワークショップ（会場型）②

テーマ：「生活支援に必要な面接技法」

講師：「医療法人武田内科 地域医療連携室長 大垣京子氏」

ワークショップ（遠隔型）③

テーマ：

「F-SOAIIP で記録作成の悩み解決！

－アセスメントと根拠に基づいた実践を記録に残そう－」

講師：「国際医療福祉大学保健医療学部 医療福祉・マネジメント学科

講師 高石 麗理湖氏」

12：40～13：00 全体会

13：00～第14回日本医療ソーシャルワーク学会の紹介
学会事務局からの連絡事項

13：30 閉会

2. 研究発表

開催にあたり研究発表を募集いたします。申し込み締切は6月30日（金）です。

採否のお知らせは、7月末迄に連絡させていただきます。

また抄録原稿の締切は8月31日（木）です。

※詳細は別紙第14回日本医療ソーシャルワーク学会「研究発表」発表演題募集のご案内をご参照ください

3. ワークショップ（事前申込み必要）

*ご希望に添えないことがございますご了承ください

① 多摩大学大学院 特任教授・名誉教授 徳岡 晃一郎 先生

テーマ：「みなをつなげるコミュニケーション」

要旨：日ごろ忙しいなかで医療機関にはますます求められることが多くなっており、組織内の連携が取りづらい時代です。また多職種が混在するなかでのチーム活動には様々なすれ違いも生じます。そんな悩みにコミュニケーションでどう対応するかを考えます。

② 医療法人武田内科 地域医療連携室長 大垣京子氏 先生

テーマ：「生活支援に必要な面接技法」

要旨：皆さんは、現在の社会で生活を支援することの困難さを感じているのではないのでしょうか。このワークショップでは、解決構築の面接技法を使うことでほんの少しだけでもクライアントが望む生活に向かっていける、と思えるもの皆さんと作り上げたいと思います。

③ 国際医療福祉大学保健医療学部 医療福祉・マネジメント学科 講師 高石 麗理湖 先生
テーマ：「F-SOAIP で記録作成の悩み解決！」

－アセスメントと根拠に基づいた実践を記録に残そう－

要旨：自己流に記録を書いているけれど、果たしてこれでいいの？、「記録の指導、どうしたらいいの？」など、記録に関する悩みを抱えていませんか？面接場面のロールプレイを基にF-SOAIP で記録を作成するワークショップを行います。アセスメントと根拠に基づいた実践を記録に残すこと、その意義を共に学び合ひましょう。

4、大会申込みについて（事前申込み必要）

申込みについてはPeatix でお申込みください。

URL: <https://peatix.com/event/3602090>

QR コード：



9月18日（月・祝）までに、ご記入いただいたメールアドレス宛に配信用ミーティング ID をお送りいたします。ミーティング ID が届かない場合は、学会事務局までご連絡ください。

（参加申し込み期間）2023年6月1日（木）～2023年9月15日（金）まで

5、大会参加費・懇親会費用について

大会参加費等は下記のとおりです。事務処理の都合上、同じ所属でもお一人ずつ手続きをお願いいたします。

（参加費）

日本医療ソーシャルワーク学会正会員、準会員（会場参加）・・・5,000円

日本医療ソーシャルワーク学会正会員、準会員（WEB参加）・・・6,000円

非学会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・6,000円

学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,000円

懇親会（参加者のみ）・・・・・・・・・・・・・プラス7,000円

6、会場アクセス 西九州大学佐賀キャンパス

（佐賀市神園3丁目18-15）

●バス利用の場合

JR 佐賀駅(長崎本線)下車、駅から市営バスが運行しています。「佐賀駅バスセンター」または「佐賀駅北口バス停」よりご乗車ください。

市営バス(若楠・佐賀記念病院線)～西九大神園前下車(約 200m)

市営バス(卸センター・医大線)～西九大神園南下車(約 200m)

●自動車利用の場合

大学構内に2箇所、177台収容の駐車場があります。

